

# 第8回宮津まちづくり会議

日時：平成27年2月16日（月）

場所：宮津商工会議所 大会議室

## 1 報告事項

- 1) これまでの各ワーキングの進捗状況について（資料1）
- 2) 今後の各ワーキングの予定について（資料2）

### 【主な意見】

#### <全体的に>

- ・中間報告で示していないアイデアもたくさんある。具体に向けては、これからたくさん議論が必要。今回は機能的にはこういった内容ではないかとの報告。
- ・頻繁に参加させていただいているが、毎回良い議論ができていると感じている。
- ・5、10年後を考えていく会議。今の時点で議論が早い、遅いということではない。じっくり大切にしていくべき。
- ・委員の皆さんが“柱”。議題を団体に持ち帰り、会議にバックするのも一つ。
- ・皆さんが“良くしたい”の気持ちが大切。
- ・公共施設なので遠慮する、では死んでしまうアイデアが多くなる。先生が言われた困難なアイデアも活かして市に提案していくようにまとめる必要があるのではないか。ワーキンググループの思いを無駄にしまわぬようお願いしたい。
- ・ある会合で商業施設は絶対失敗するとの雑談を耳にした。何をやっても駄目との感覚で話をされていた。住民のリーダーとなるべき人の発言だったため、非常に悲しくなった。宮津市民は、成功体験がないことが足を引っ張っているのではないかと感じる。必ずプロジェクトを成功させるという強い意志が成功を導くと考えてるので頑張りたい。

#### <浜町・浜町地区周辺まちづくりワーキングについて>

- ・今後の推進団体についてはNPO等の検討も必要。
- ・A3資料は、まとめられている資料となっているのか。  
→出された意見をまとめたという点ではよくまとまっている。夢あるアイデアも出ていたが、今回は現実ベースで優等生的にまとめた感。更に議論を深める中で飛び跳ねた意見なども取り込んでも面白いと考えている。

### <浜町商業ワーキングについて>

- ・当初は、道の駅・商業施設という議論だったが、議論の中で全体の活性化が必要との意見が出され“家族みんなが一日中楽しく過ごせる”という意見も出た。市民の集わない寂しいところには、観光客も来ない。市民に重心を置いた良い視点。
- ・商業ゾーンのキーマンは強力に実行していく、若くて行動力のある人が必要。
- ・商業ゾーンのキーマンを早く募集する必要があると考える。
- ・商業ゾーンのキーマンは事業者の意見を中心になってマネジメントしていく人と考える。  
→以前から商業ゾーンのキーマンの必要性については会議でも意見をいただいている。事務局としても、迅速に募集をしていきたい。詳細については、早急に検討する。
- ・賑わいづくりの場所として、市有地など浜町のどこの部分を活用できるのか、キーマンに示していく必要があるのではないか。どの程度情報を得て議論をしているのか。  
→資料1の色づけした場所で賑わいづくりを進めたいと議論を進めてきた。今後、更に議論を深め詰めていきたい。公共的な土地であるため、市との議論も必要となる。

### <浜町・浜町地区周辺まちづくりワーキングコーディネーターの主な意見>

- ・浜町・浜町地区周辺まちづくりワーキングは、これまで5回開催。まちづくり全体のグループをコーディネートしている。
- ・宮津市には3年間関わっているが言い放しで終わることが多かったので、今回は、商工会議所が市役所や市民と協働しながら実施に移す内容を考えてきた。
- ・海が近いのに海が感じられない。昔は砂浜、海水浴場があった。
- ・既存施設との連携。図書館と何かを連携させる機能があれば良い。武生市の図書館のように、宮津らしい既存施設を連携させてできることがあるのではないか。
- ・昨年、北前船のまちづくりワーキングに参加し、歴史文化について様々な意見があったが、今年度も宮津城の議論があった。お寺・教会がここにあった理由を学び、もっと歴史文化を感じられるまちづくりをしていっても良いのではないか。QRコードやAR技術を活用したマップの作成も一考。
- ・宮津には顔となる場所がない。昔はプラタナスの並木が駅前であり、大手川には桜の名所があった。駅、大手川、海と宮津の顔を取り戻すべき。
- ・市民パワーを活用すべき。大手川の利活用など、アイデア、知恵を出してもらおう。イベントなどは市民活動団体に開放しても良いのでは。
- ・ワーキングの進め方としては、前週に宿題を出して、現状と課題、理想像、実現への方法などを事前に考え、当日みんなで議論している。
- ・地域資源を最大限活用した商業施設ができることで駅前、商店街などうまく繋がるのではないか。今後、更に議論が必要。現在はアイデア出しの段階。市民をいかに参画してくれるような仕掛けをどう作るかが課題。
- ・商工会議所がファシリテーター、進行をすることで、様々な意見が出た。良いスタイル。こうした方法が市民に広がることでまちが活性化すると期待している。

以上